

3 「地域に豊かな学びを創る」

目標7. 生涯学習・スポーツの充実

目標8. 文化・芸術の振興

目標9. 地域協働合校の推進

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る			
目標	7	生涯学習・スポーツの充実	施策	31	生涯学習の機会の充実を図ります。
具体目標	ア	生涯学習の充実			
具体施策	(1)あらゆる世代の学習ニーズの把握に努め、大学等と連携した専門的な学習の充実を図ります。 (2)学習情報の提供や相談窓口、学習成果発表の場の充実と周知に努めます。 (3)図書館資料の充実に努め、市民の多種多様な資料要求に的確・迅速に提供を行います。また、図書館利用を促す情報発信を積極的に行います。 (4)小学校区など生活区域を中心とし、身近な課題や地域の特性を生かした講座の開設を進めます。(まちづくり協働部が補助執行)				

取組状況		目標(上段)と実績(下段)									
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	H27	H28	H29	H30	H31	
						目標	実績	目標達成度	目標	実績	目標達成度
(1)	大学等と連携した専門的な学習の充実	生涯学習課	立命館大学との共催で「立命館びわこ講座」を開講し、「～近江を学ぶ草津を識る～」をテーマに、滋賀・草津の歴史文化、工学など大学の資源を生かした5回の連続講座を行った。「地域特性や文化を知る企画がよい」「文化都市として、市民から誇りのもてるこのような学習機会を継続してほしい」といった声があり、地域学を通して、ふるさと意識の醸成と地域を支える人づくりへのきっかけとなった。	受講後、地域活動への参加など学習成果を生かしたいと希望した人の割合	60.0%	目標	-	54.0	56.0	58.0	60.0
						実績	-	59.0	64.0		
						目標達成度	-	109.3%	114.3%		
(2)	学習情報の活用	生涯学習課	市や社会教育関係施設で実施する生涯学習に関する講座やイベント等の情報を集めた、生涯学習ガイドブック「誘・遊・友」(※1)を発行し、学習情報の発信に努め、生涯学習のきっかけづくりや学びを生かした社会参加への一歩としての役割を担った。また、滋賀県学習情報システム「におねっと」やフェイスブックなどのSNS、南草津駅のデジタルサイネージを利用した学習情報の提供を行うなど様々なアプローチ方法での学習情報の配信に努めた。	冊子掲載事業への参加者数	28,500人	目標	28,350	28,400	28,450	28,500	28,500
						実績	25,327	26,561	26,197		
						目標達成度	89.3%	93.5%	92.1%		
(3)	図書館運営事業・南草津図書館運営事業	図書館	市民の生涯学習の情報拠点として、年間約22,000点の資料収集を行い、Facebook等での情報配信に積極的に取り組んだ。また、「レファレンスサービス」(※2)、「中高生」、「児童・乳幼児」、「高齢者」、「障害者」、「外国人」等の項目別に、利用促進のための事業や資料の充実を図った。また、図書館システム更新を見据えて、資料の適切な管理のためのICタグの貼付作業(平成27年度～平成29年度の3か年)を完了させた。	利用者アンケートによる総合満足度(満足・やや満足)	80.0%	目標	-	65.0	70.0	75.0	80.0
						実績	-	60.8	88.2		
						目標達成度	-	93.5%	126.0%		

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(1)	大学等と連携した専門的な学習の充実	生涯学習課	立命館大学という場所や、時間帯が障壁となって参加できない人がいるのではないだろうか。講座内容は魅力的なので、参加者の要望を汲み取りながら継続してほしい。また、中高生を対象とした内容も検討してほしい。	びわこ・くさつキャンパス開校時から、この場所で専門的な講座を行い、地域の人々など多様なコミュニティでの活動が行える場づくりや環境づくりを進めている。講座テーマについては、立命館大学と協議し、市民に学んでいただきたいことを講座の中に織り込み、平成29年度では「近江を学ぶ、草津を織る」をメインテーマに「ゆるキャラの歴史的変遷」といった幅広い年齢層を対象とした講座を企画や、周知方法について工夫をしている。	受講者の年齢構成を見ると、60・70歳代が全体の8割を超えており、受講生アンケートでも、若い世代の生涯学習活動推進をという声があったことから、これからの社会を支える中核となる若年層の受講を促進する必要がある。しかし、若年層は仕事、育児、地域活動があり、時間的余裕がない状況であるため、時間帯やテーマ選定もさることながら、根本的な問題について探求する必要がある。	
(2)	学習情報の活用	生涯学習課	「誘・遊・友」に関しては、市内イベントが網羅され分かりやすい。今後、デジタル化による利便性の向上に取り組んでほしい。	「誘・遊・友」の市ホームページでの掲載などデジタル化による利便性の向上に取り組んでいる。また、市で行う講座等については、滋賀県の学習情報システム「におねっと」やフェイスブックなどのSNSを利用した学習情報の提供を行うなど様々なアプローチ方法での学習情報の配信に努め、利便性の向上に取り組んでいる。	市の講座等については、参加者が固定化しているなどの問題がある。市の講座を網羅している「誘・遊・友」をより活用していただけのものとするため、掲載内容の構成の見直し、ホームページでの更新回数を増やすなど検討するとともに、庁内の関係課や社会教育関係施設と連携し、「誘・遊・友」の周知を図るなど、学習情報の提供方法について検討していく必要がある。	
(3)	図書館運営事業・南草津図書館運営事業	図書館	レファレンスサービス等を知らない人も多いと思うので、利用者の立場に立って、積極的な情報発信を心掛けてほしい。	レファレンスサービスの市民への認知度を高めるために、広報くさつでの特集記事を掲載し、レファレンス事例のPRを実施した。また、図書館職員にレファレンス研修を行い資質向上に努めた。他の分野と比較して十分でなかった高齢者向けに大活字本・朗読CDを、視覚障害者向けに点字資料・録音図書、外国人向けに英語等の洋書資料を収集、展示し、貸出を促した。	引き続き、レファレンスサービスの認知度を高める広報活動を行い、市民の課題解決と主体的な学習を支援する情報の提供に資するレファレンスサービスのさらなる充実を図る必要がある。図書館システム更新に伴い、ICタグを使った市民サービスの拡大を図る必要がある。	

注釈

- (※1) 生涯学習ガイドブック「誘・遊・友」…市で実施する生涯学習に関する講座やイベント情報を集めた、学習情報冊子のこと。
(※2) レファレンスサービス…生活の中の疑問や学習を支援する調べもの等について必要とされる資料を検索・提供・回答するサービス。

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る			
目標	7	生涯学習・スポーツの充実	施策	32	生涯学習施設の整備・充実を図ります。
具体目標	ア	生涯学習の充実			
具体施策	<p>(1)地域にねざした誰もが利用しやすい施設の充実を進めるとともに、子どもから高齢者まで幅広い世代が共に学びを深めるための学習機会を提供します。 (まちづくり協働部が補助執行)</p> <p>(2)草津市文化芸術機能等施設整備基本計画に基づき、「市民が集い創造する 歴史・文化・芸術の拠点づくり」を基本理念とし、施設整備に向けた検討を行います。</p>				

取組状況										
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	目標(上段)と実績(下段)				
						H27	H28	H29	H30	H31
(2)	草津市文化芸術機能等施設整備基本計画による施設整備の検討	生涯学習課	平成25年度に策定された、草津市文化芸術機能等施設整備基本計画(※1)では、しが県民芸術創造館(現クリアホール)の移管により、新たなホールの整備は行わないものとし、現在不足する展示機能等を整備することとしているが、(仮称)市民総合交流センター(※2)に展示機能等を確保できるよう調整を行うとともに、文化財等の展示収蔵機能についても既存施設の改修等も含め検討している。	—	—	目標	—	—	—	—
						実績	—	—	—	
						目標達成度				

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(2)	草津市文化芸術機能等施設整備基本計画による施設整備の検討	生涯学習課	草津市で発掘された貴重な文化財が、他市に寄託され展示されていることは残念である。審議会では展示施設に関する検討も行ってほしい。	「草津市文化芸術機能等施設整備基本計画」で示されている文化財等の展示収蔵機能を持つ歴史伝統館機能について、草津市文化振興審議会において現状を報告し、意見をいただいている。	歴史伝統館機能については、そのあり方について、文化財保護審議会や平成30年度策定の草津市歴史文化基本構想(※3)策定委員会において検討を進め、文化振興審議会へ報告・調整を図る必要がある。	

注釈
<p>(※1)草津市文化芸術機能等施設整備基本計画:草津市では、平成21年度に子育て支援センターや教育研究所、文化芸術、歴史伝統館等の複合施設を三ツ池に整備するものとして(仮称)市民文化の森基本計画を策定したが、その後滋賀県立しが県民芸術創造館の市への移管など計画の再検討の必要が生じたことから、既存施設との連携や有効活用を考慮しながら、芸術文化館と歴史伝統館の機能について整備していくものとして、平成25年度に草津市文化芸術機能等施設整備基本計画を策定した。</p> <p>(※2)(仮称)市民総合交流センター:草津駅周辺に点在している公共施設の機能集積のため、中心市街地活性化のコア施設として、新しい機能を加えた複合施設を民間活力を活用しながら、整備に取り組む。</p> <p>(※3)草津市歴史文化基本構想:近年、文化財を取り巻く環境は大きく変化しており、国では文化財の保存とともに活用し、まちづくりに資することを自治体に求めている。草津市では、本市に残る指定、未指定に関わらず全ての文化財を周辺環境を含めて、総合的に把握し、適切に保存、活用できるよう、今年度に草津市歴史文化基本構想を策定する。</p>

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る			
目標	7	生涯学習・スポーツの充実	施策	33	学習ボランティアの育成・活用を進めます。
具体目標	ア	生涯学習の充実			
具体施策	(1)「ゆうゆうびとバンク(※1)」制度の周知に努め、その活用についての見直しを進めます。				

取組状況											
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	目標(上段)と実績(下段)					
						H27	H28	H29	H30	H31	
(1)	学習ボランティアの育成・活用	生涯学習課	市民の学びや知識・経験を生かした社会参加を促すための学習ボランティアを育成し、広く市民の生涯学習を支援するため、「ゆうゆうびとバンク(※1)」の登録者情報をまとめた冊子を発行した。また、講師経験の少ないバンク登録者を対象とした「ゆうゆうびと講座(※2)」を実施したり、「ゆうゆうびとのつどい(※3)」を開催するなど、学習ボランティアの育成を行った。また、「ゆうゆうびとバンク」を各地域まちづくりセンター、図書館などの市内公共機関窓口、ホームページ、地域コーディネーター情報交換会等で配布・周知し、地域活動での講師として、活躍する場の提供を行った。	ゆうゆうびとバンク活動に満足している登録者の割合	65.0%	目標	55.0	57.0	60.0	63.0	65.0
						実績	53.0	53.0	57.4		
						目標達成度	96.4%	93.0%	95.7%		

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(1)	学習ボランティアの育成・活用	生涯学習課	人材は充実しているが登録分野に偏りがあるように感じるので、身近な地域の学習ニーズに応えられるように登録分野の拡大を目指してほしい。	社会教育主事が各施設に出向き、ゆうゆうびとバンク登録者情報や、登録者募集チラシを持参し、登録者・登録分野の拡大に努めた。また、地域コーディネーター情報交換会等においても周知するなど、情報提供と登録促進に努めている。さらに、学習ボランティア「ゆうネットくさつサポーターの会」(※4)と協働しながら、パワフル交流市民の日ブースなどで活動紹介を行い、バンクの周知と、学びを「生かす」、「人とつながる」ことの楽しさ、素晴らしさを啓発している。	バンク登録者の活動に偏りがあることはかねてからの懸案であるため、機会があるごとに情報提供や周知を行っているが、未だに抜本的な改善には至っていない。地域におけるニーズ把握のもと、受講者の満足度が高まるよう、登録者のスキルアップにつながる支援を行う必要がある。	

注釈
<p>(※1)ゆうゆうびとバンク…美術や音楽、スポーツ、語学など様々な知識・技術・経験を生かしたいという個人やグループが登録している学習ボランティア制度のこと。</p> <p>(※2)ゆうゆうびと講座…講師経験の少ないゆうゆうびとバンク登録者を対象に、市とゆうネットくさつサポーターの会の支援の下、講座を実施するもの。</p> <p>(※3)ゆうゆうびとのつどい…バンク登録者や日々の学習活動に取り組んでいる方がたの交流を図り、また研修を行う集まり。</p> <p>(※4)ゆうネットくさつサポーターの会…ゆうゆうびとバンク登録者の活動を支援、コーディネートする人の会。</p>

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る		
目標	7	生涯学習・スポーツの充実	施策	34 誰もが参加できる環境学習を推進します。
具体目標	ア	生涯学習の充実		
具体施策	(1)こどもエコクラブ活動等、学校、家庭、地域で取り組める環境学習の機会を提供します。 (2)環境学習を推進する人材の育成や環境学習団体への支援と交流・連携を促進します。(市長部局において執行)			

取組状況											
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	目標(上段)と実績(下段)					
						H27	H28	H29	H30	H31	
(1)	小中学校における環境学習の推進	学校政策推進課	市内全小中学校において、環境学習を教育課程の中に位置づけて実施した。また、ビオトープを活用した学習や持続可能な社会づくりに関する先進的な取組など、各校の特色を踏まえた取組も進め、保護者や地域へ情報発信を行った。	環境学習を実施している学校の数	20校	目標	19	20	20	20	20
						実績	19	20	20		
						目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(1)	小中学校における環境学習の推進	学校政策推進課	環境に関する取組は草津市の強みであり、草津市子ども環境会議に関しては中学生の参加も目立ってきているなど継続の成果が見られる。このような活動を全国に発信しながら、取組を継続してほしい。	草津市子ども環境会議は、環境課と教育研究所が主催しており、学校政策推進課も連携している。平成29年度の子ども環境会議には、市内14小学校、中学校は4校の壁新聞に加え、市外の学校からも出展があり、各ブースで質問形式のエコ活動取材ラリーを行うことができた。	市内全小中学校で、教育課程に位置づけ環境学習を実施しているが、成果を発信できる草津市子ども環境会議に全小中学校が参加することをめざしたい。	

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る			
目標	7	生涯学習・スポーツの充実	施策	35	市民の生涯スポーツ活動を支援します。
具体目標	イ	スポーツの推進			
具体施策	(1)総合型地域スポーツクラブ(※1)の育成と学校体育施設等の活用による地域スポーツ活動を推進します。 (2)各種スポーツ大会等の充実とレクリエーションスポーツの普及や健康づくり事業の展開を図ります。 (3)生涯スポーツの推進を目指す市民団体の育成・支援を進め、市民のスポーツ参加を促進します。				

取組状況											
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	目標(上段)と実績(下段)					
						H27	H28	H29	H30	H31	
(1)	総合型地域スポーツクラブ活動支援事業	スポーツ保健課	総合型地域スポーツクラブ「くさつ健・交クラブ」の会員数増加に向けた活動基盤強化をはじめ、障害者スポーツの体験イベントや新規サークルの開設等に対する支援を行った。目標とする会員数の増加は実現できなかったものの、当初目標を上回る回数の定期サークル活動の実施等を通じて、スポーツを気軽に楽しめる環境を整えることができた。	総合型地域スポーツクラブ会員数	750人	目標	550	600	650	700	750
						実績	556	576	583		
						目標達成度	101.1%	96.0%	89.7%		
(1)	学校体育施設開放事業	スポーツ保健課	地域のスポーツ活動等を推進するため、小中学校の体育館およびグラウンドを学校教育に支障がない範囲で、スポーツ等の活動場所として開放し、広く市民にスポーツやレクリエーション活動を実践できる場を提供することができた。	学校開放登録者数	3,700人	目標	3,500	3,550	3,600	3,650	3,700
						実績	3,518	3,748	3,648		
						目標達成度	100.5%	105.6%	101.3%		
(2)	各種スポーツ大会等の充実	スポーツ保健課	スポーツ・レクリエーション祭を開催し、多くの市民にスポーツをする機会の提供とニュースポーツを普及・啓発することができた。また、くさつ健幸ウオークやチャレンジスポーツデー(※2)、草津市駅伝競走大会等の各種大会を開催し、市民の健康づくりを推進することができた。	市民スポーツ・レクリエーション祭の参加者数	1,000人	目標	900	920	940	970	1,000
						実績	895	997	1,065		
						目標達成度	99.4%	108.4%	113.3%		

取組状況

施策 番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達 目標値	目標(上段)と実績(下段)					
						H27	H28	H29	H30	H31	
(3)	地域スポーツクラブ(※3)設立の支援	スポーツ保健課	市民が身近にスポーツができる環境を整えるため、小学校等を拠点に活動する地域スポーツクラブの設立に向けて、個別に地域特性を踏まえた助言や支援を行うことで、地域スポーツクラブの新設を進めた。また、小学校区の体育振興会会長で構成する草津市体育振興会連絡協議会を通じて、新たなクラブの設立に向けた機運の醸成に努めた。	地域スポーツクラブ設立数	7クラブ	目標	4	4	5	6	7
						実績	4	4	5		
						目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(1)	総合型地域スポーツクラブ活動支援事業	スポーツ保健課	総合型地域スポーツクラブは、多くのイベントを開催しており、スポーツが身近なものとなる良いきっかけだと思うので、今後も充実させていくとともに認知度の向上に努めてほしい。	草津市広報により会員の募集やイベントの周知を行った。また、市内小学校等へのチラシ配布にかかる支援を行った。	総合型地域スポーツクラブが認知度を高め、効率的・安定的な運営をされるよう、事務局体制や活動基盤強化に向けた支援を継続的に行う必要がある。	
(1)	学校体育施設開放事業	スポーツ保健課	身近な運動施設としてニーズは高いと思うが、調整に手間が掛かるのが課題に思える。学校への負担を減らしつつ事業を継続してほしい。	毎年、草津市立学校体育施設開放運営委員会を開催し、施設利用の促進や適正な施設利用について協議するとともに、施設利用にかかる調整会議にて、利用希望者へ、施設利用時の厳守事項について周知、徹底を図った。 また、平成27年度から順次、各小学校のグラウンド照明の改修工事を行い、利用者の利便性向上に努めた。	多様なスポーツニーズや利用希望者の増加に対応するため、さらなる学校体育施設の開放に取り組む必要がある。 また、引き続き、学校体育施設利用者に対して、利用にかかるルールや厳守事項の遵守について徹底していく必要がある。	
(2)	各種スポーツ大会等の充実	スポーツ保健課	市民ニーズは様々であるが、個人でも参加できるイベントは健康づくりのよいきっかけとなる。特にウォーキングなど気軽に参加できるイベントは有効であると思う。	平成29年度からウォーキングを通じたスポーツ健康づくりを推進するため、市内をステージにした「くさつ健幸ウォーク」を実施している。 また、だれもが気軽に参加できる「草津市民スポーツレクリエーション祭」などの各種事業を展開しているところであり、それぞれの運営の見直しや広報の充実を通じて、さらなる参加者の増加に努めた。	市だけでなく、様々な主体によるスポーツイベントが現在実施されていることから、各事業の効果を見極めていくとともに、事業実施に当たってはより多くの市民が楽しみ、気軽に参加できる大会のあり方を検討する必要がある。	

課題						
実施番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(3)	地域スポーツクラブ設立の支援	スポーツ保健課	地域交流の場として有効であると思うので、継続して地域スポーツクラブの設立に向けて支援をしてほしい。	長期安定的に運営できる新たな地域スポーツクラブの設立に向けて、まちづくり協議会や体育振興会等の関係団体との連携も図りながら、個別に助言・相談を行うとともに、設立にかかる補助制度の創設を行った。その結果、老上・老上西小学校区による「ALL老上スポーツクラブ」を創設することができた。	新たな地域スポーツクラブの設立に向けては、各地域特性やスポーツ推進等にかかる地域の取組状況を踏まえて、地域への働きかけや相談を行う必要がある。また、既設の地域スポーツクラブの安定的な運営に向けても支援する必要がある。	

注釈

(※1) 総合型地域スポーツクラブ・・・地域住民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツを気軽に楽しみ・親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現を基本理念とし、生涯にわたってスポーツに親しむ能力や体力・運動能力の向上、健康の保持・増進の基礎を培うため、各種スポーツ教室やイベントなどを行うもの。

(※2) チャレンジスポーツデー・・・健康づくりや市民の交流を図るため、市内の各所で市民の誰もが参加できるスポーツイベントを実施し、より多くの市民にスポーツを楽しんでもらい、生涯スポーツの推進を図ることを目的としたイベントのこと。

(※3) 地域スポーツクラブ・・・市内の小学校を活動拠点とし、地域住民の誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる活動を定期的に行い、小学校区単位で活動するスポーツクラブ。草津市では、現在、志津、矢倉、山田、老上・老上西、常盤小学校区で活動されている。

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る			
目標	7	生涯学習・スポーツの充実	施策	36	競技スポーツの推進を図ります。
具体目標	イ	スポーツの推進			
具体施策	(1)競技スポーツの推進を目指す団体の育成・支援を進めます。 (2)国民体育大会に向けた選手やアスリートの育成を進めます。 (3)プロスポーツ団体の活動を支援し、市民のスポーツへの関心を高めます。				

取組状況											
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	目標(上段)と実績(下段)					
						H27	H28	H29	H30	H31	
(1)	草津市スポーツ協会等活動支援事業	スポーツ保健課	競技スポーツを推進するため、市内の競技団体等で構成されている草津市体育協会の運営や、事業活動に対して支援を行ったことにより、各競技団体の活発な活動を促すことができたが、県民体育大会の総得点数は、前年度に比べて微増に終わった。 また、草津市スポーツ少年団の活動に対して支援を行ったことにより、ジュニア世代の競技スポーツの推進を図ることができた。	県民体育大会の点数(総得点数)	90点	目標	70	75	80	85	90
						実績	56.5	58	61		
						目標達成度	80.7%	77.3%	76.3%		
(2)	国民体育大会選手育成事業	スポーツ保健課	国民体育大会の選手の発掘や育成の取組として、草津市スポーツ協会において実施されたジュニア世代の選手発掘および競技力向上のためのスポーツ教室、講習会の開催を支援した結果、教室開催数の増加により、参加者数が目標値を大きく上回った。	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数	800人	目標	400	500	600	700	800
						実績	312	349	765		
						目標達成度	78.0%	69.8%	127.5%		
(3)	プロスポーツ団体等支援事業	スポーツ保健課	MIOびわこ滋賀のJリーグへの加盟に向けて、チームを市民に深く浸透させるため、サッカーを通じた子どもの健全育成や地域への社会貢献活動を「MIO夢先生事業」として実施し、幅広い世代へチームの認知度を高めることができた。 また、滋賀レイクスターズが発行する「レイクスマガジン」を各小学校に配布し、市民がプロスポーツ団体等を応援していく機運を高めることができた。	MIOびわこ滋賀夢先生事業の実施回数	8回	目標	8	8	8	8	8
						実績	8	8	7		
						目標達成度	100.0%	100.0%	87.5%		

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(1)	草津市スポーツ協会等活動支援事業	スポーツ保健課	人材バンク制度は教育現場において非常に役立つものとなっていることから、今後も充実させていってほしい。	草津市スポーツ協会で行き組まれた、専門的技術・指導力を備えた加盟団体のスポーツ経験者等を登録・派遣する人材バンク制度の創設に向けて支援した。また、当該制度を活用し、中学校の運動部活動で専門的な指導者の派遣を希望する中学校に対して、12件の支援を行った。	県民体育大会の総得点が目標値を下回っており、ワールドマスターズゲームズ2021関西、滋賀県での国民体育大会の開催に向けて、競技力向上に取り組む必要がある。 また、草津市スポーツ協会の人材バンクについては、指導者派遣にかかるマッチングに課題があり、まずは登録者数の拡大を図る必要がある。	
(2)	国民体育大会選手育成事業	スポーツ保健課	活躍する選手が出れば、若い世代の励みになるので今後とも選手の育成に力をいれてほしい。	全国大会に出場されたスポーツ少年団について、市長激励会を開催した。 また、大会出場激励金制度や市民スポーツ大賞制度を活用し、競技に取り組む励みの一つとした。	選手の育成については、草津市スポーツ協会だけの取組には限界があり、高等学校や大学などと連携した取組を一層進める必要がある。	
(3)	プロスポーツ団体等支援事業	スポーツ保健課	身近なスポーツ団体を活用して、スポーツがより身近なものに感じられるような取組にしてほしい。	サッカーチーム「MIOびわこ滋賀」の選手等が市内の学校を訪問し、子どもたちと交流する「MIO夢先生事業」を実施した。また、滋賀ユナイテッドBCの選手をお招きした野球教室の開催を支援した。 これらの取組により、子どもたちにスポーツの魅力を伝えるとともに、トップアスリートとの交流を通じて、夢の大切さや目標達成に向けた心構えなどを学ぶ機会をつくることができた。	市民が身近にプロスポーツを観戦する機会や直接指導が受けられる機会の創出に向けて、プロスポーツチームと連携した事業の展開について検討していく必要がある。	

注釈

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る		
目標	7	生涯学習・スポーツの充実	施策	37 社会体育施設の整備・充実を図ります。
具体目標	イ	スポーツの推進		
具体施策	(1)国民体育大会に向けた社会体育施設の整備・改修を計画的に実施し、施設の利用促進を図ることにより、スポーツの推進に努めます。			

取組状況											
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	目標(上段)と実績(下段)					
						H27	H28	H29	H30	H31	
(1)	社会体育施設管理運営事業	スポーツ保健課	国民体育大会に向けて、野村公園体育館の整備に取り組むとともに、社会体育施設における必要な施設更新を通じて、利用者の満足度向上を図った。 また、子どもから高齢者まで参加できるスポーツ教室の実施を通じて、市民がスポーツに取り組むきっかけづくりと、スポーツを継続する人の増加が図れ、結果として、施設の利用が促進できた。	施設利用者の利用満足度(%)	90.0%	目標	86.0	88.0	90.0	90.0	90.0
						実績	80.0	88.0	68.3		
						目標達成度	93.0%	100.0%	75.9%		

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(1)	社会体育施設管理運営事業	スポーツ保健課	熱中症対策に関して改善がみられるので、今後も注意しながら継続してほしい。	簡易熱中症指数計を活用しながら、利用者に対して窓口でこまめな水分摂取等について呼びかけるほか、屋外では簡易テントやパラソルを設置し、屋内では扇風機を無料で貸し出した。	スポーツ環境の充実に向けて、引き続き社会体育施設の整備を行うとともに、利用者満足度を高める取組を進める必要がある。	

注釈

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る			
目標	8	文化・芸術の振興	施策	38	文化財の保護と活用を推進します。
具体目標	ア	文化財の調査・整備・活用			
具体施策	(1)各種文化財の調査を進め、積極的な情報提供を図ります。 (2)各種文化財の保護・継承に努めます。 (3)史跡草津宿本陣等の文化財を公開し、活用に努めます。				

取組状況											
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	目標(上段)と実績(下段)					
						H27	H28	H29	H30	H31	
(1)	埋蔵文化財調査事業	文化財保護課	個人住宅建築および遺跡範囲確認調査として589㎡、民間開発に伴い14,346㎡の発掘調査を行ったほか、各種開発に先立ち60,119㎡を対象とした試掘調査を実施した。その結果、各遺跡の内容を記録化し、地域の歴史を解明する資料を得ることができた。	発掘調査面積累計	88,000㎡	目標	18,000	41,000	63,000	81,000	88,000
						実績	17,966	44,832	59,767		
						目標達成度	99.8%	109.3%	94.9%		
(2)	史跡草津宿本陣保存整備事業	文化財保護課	史跡草津宿本陣の第2次保存管理計画として史跡構成要素の整備を図るため、土蔵2の保存修理工事に取り組み、土蔵2の保存修理工事を終了した。	第2次保存修理工事等の進捗率(執行済事業費累計/第2次保存事業費総額)	100.0%	目標	59.0	68.0	75.0	83.0	100.0
						実績	59.0	67.0	83.0		
						目標達成度	100.0%	98.5%	110.7%		
(3)	史跡草津宿本陣管理運営事業	草津宿街道交流館	史跡草津宿本陣を適切に公開・管理するとともに、史跡を活用した各種事業を実施し、本市の歴史文化を市民に啓発した。特に、伝統文化に触れる機会として毎月開催している「本陣楽座」事業(※1)と、四季折々の設えにより本陣の魅力向上を図る「本陣四季彩々」(※2)などを引き続き実施し入館者は18,050人を得たが、昨年に比べ2つの学校団体の入館が中止となるなどの影響で、増加を見込んだ目標値(※3)に及ばなかった。	草津宿本陣年間入館者数	19,600人	目標	18,500	18,700	19,600	19,600	19,600
						実績	18,803	18,694	18,050		
						目標達成度	101.6%	100.0%	92.1%		

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(1)	埋蔵文化財調査事業	文化財保護課	文化財を身近なものにするために、例えば図書館の2階などで文化財の発掘状況や現物を公開することはできないか検討してほしい。	南笠町および野路町で実施しているプリムタウン土地区画整理事業に伴う発掘調査成果を中心に市民を対象にした報告会を開催したほか、中学校の職場体験や親子遺跡発掘体験を実施するなど、多くの方々に地域の歴史について関心を持っていただく場を提供することができた。	「草津の古代を掘る」や、まちづくりセンターとの連携事業を進めてきたが、埋蔵文化財の保護の必要性を認識していただくきっかけづくりは必要であることから、今後も市民向けの発掘調査成果の報告会等を開催し、啓発していく必要がある。また、優れた出土品については文化財指定等の措置を講じるとともに展示会等を行い、市民の方々に周知していく必要がある。	
(2)	史跡草津宿本陣保存整備事業	文化財保護課	草津宿本陣は観光資源としても重要であり、公開・活用の充実とともに、リピーターを増やす取組をお願いしたい。	史跡草津宿本陣の工夫を凝らした公開・活用に向けて、所有者および草津宿街道交流館と調整を進めた。その結果、草津宿街道交流館で四季の設えを醸し出す工夫など、特色ある取組を行った。	史跡草津宿本陣については、指定地域全域の公開・活用に向けて、現公開範囲の防災対策事業や、未整備範囲の建物、堀、藪等の整備を計画的に進めるため、今後、保存管理計画や整備基本計画の策定に取組む必要がある。	
(3)	史跡草津宿本陣管理運営事業	草津宿街道交流館	地域の子どもにとっても身近な施設となるよう、企画内容の工夫が必要であると思う。	子ども向けの企画として、納涼まつりの夜間公開時の影絵演出、夏季のクイズラリー、専任読手による本格的な百人一首大会、落語家に教わる落語家体験会などを開催し、江戸時代の伝統芸能を身近に感じてもらう機会を提供した。	各種の子ども向け事業を体系的に整理して広報し、また関係機関と連携・共催するなどして、子どもたちが繰り返し参加できるような仕組みづくりが求められる。	

注釈

- (※1)「本陣楽座」事業…草津宿本陣の楽座館を会場に毎月定例で実施している落語会などの伝統芸能鑑賞講座のこと。
- (※2)「本陣四季彩々」…本陣のリピーター確保を目指し、季節感ある書画や雛人形を展示するなど四季折々の変化をもたらせる演出のこと。
- (※3)目標値…総合計画に定めた史跡草津宿本陣と草津宿街道交流館との両館入館者数32,700人(H29)のうち本陣入館者数をいう。

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る			
目標	8	文化・芸術の振興	施策	39	郷土愛を育む地域づくりを推進します。
具体目標	イ	ふるさと意識と郷土愛の醸成			
具体施策	(1)地域に根ざした各種文化財の適切な保存・継承とその育成に努めます。 (2)地域の歴史を紹介する展覧会や講座を実施し、市民が地域の歴史に触れる機会づくりに努めます。 (3)学校と連携した地域の歴史学習の場を設けます。				

取組状況											
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	目標(上段)と実績(下段)					
						H27	H28	H29	H30	H31	
(1)	文化財保護助成事業	文化財保護課	指定文化財所有者等に適正な保存、維持管理等のための助成措置を継続して実施した。平成29年度は、指定文化財の防災設備の保守点検やサンヤレ踊りなどの民俗文化財保存育成事業等22件に対して補助金を交付するとともに所有者からの意見聴取などを行い、指定文化財の適正な保存が図れるように取組を進めた。	補助達成率	100.0%	目標	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
						実績	100.0%	100.0%	100.0%		
						目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
(2)	草津宿街道交流館運営事業	草津宿街道交流館	市民が草津の歴史文化に愛着を持つことができるよう、例年実施している草津宿街道交流館でのテーマ展示や歴史講座に加え、東海道草津宿シンポジウムを開催し本市の歴史的特性について広く啓発した。また、展示室のリニューアルを行い、より実物志向の魅力ある展示に変更したほか、浮世絵の画像をデザインしたマンホールカード(※1)の配布を当館で行ったこともあり入館者は目標値(※2)を上回る15,019人となった。	草津宿街道交流館年間入館者数	13,100人	目標	12,400	12,500	13,100	13,100	13,100
						実績	14,545	14,635	15,019		
						目標達成度	117.3%	117.1%	114.6%		
(3)	学校連携事業	草津宿街道交流館／文化財保護課	草津宿街道交流館・史跡草津宿本陣では、学校団体の見学対応および出前講座を実施し、子どもたちに地域の歴史文化に親しむ機会を提供することができたが、天候等の理由で前年より両館で受入数が4件減少した。また、職場体験は7校からの申込みがあったが、うち1校は希望者がなく、結果として目標数に達することができなかった。	学校と連携して実施した事業の件数	31件	目標	27	28	29	30	31
						実績	27	25	21		
						目標達成度	100.0%	89.3%	72.4%	0.0%	0.0%

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(1)	文化財保護助成事業	文化財保護課	個人所有の文化財については、紛失や消滅から守るシステムを確立してほしい。	指定文化財の適正な保存に努めるため、文化財所有者に対し文化財の状況に関する意見聴取を行い、適切な補助金の交付等によって保護に努めた。	所有者の高齢化や保存団体構成の変化などが進んでおり、今後も適宜事業者等への意見聴取を行い、聴取内容にもとづく対応を進めていく必要がある。	
(2)	草津宿街道交流館運営事業	草津宿街道交流館	情報発信の成果として、多くの入館者数を維持しているので、今後も入館者の増加に向けた取組を継続してほしい。	フェイスブックやホームページの活用、報道機関への情報提供など、積極的に情報発信を行った。また、東海道シンポジウムの開催によってネットワークが強化され情報網の充実につながったと考える。	市民が繰り返し来館し草津の歴史文化への関心をより深めるためには、所蔵資料等の史的価値を検証し、その結果を踏まえた魅力的な展示内容にしていく必要がある。	
(3)	学校連携事業	草津宿街道交流館／文化財保護課	出前授業で、本物に触れる機会を提供していることは非常に魅力的な取組だと思う。また、職場体験を通して学べることも多いと思うので、今後とも継続してほしい。	昨年に引き続き学校への出前事業を実施し、現地見学の事前学習を充実させることができた。職場体験事業も引き続き関心のある子どもを迎え、地域の歴史の楽しみをより一層感じ取ってもらうことができた。	子ども向けの個人対象事業としてクイズラリーや百人一首大会、落語家体験などを行ったが、これらの広報手段については、学校との連携が不可欠となっている。	

注釈
<p>(※1) マンホールカード…全国の自治体等が共同で制作し、訪れた人に無料で配布するカード。本市では浮世絵をデザインしたマンホールを紹介している。</p> <p>(※2) 目標値…総合計画に定めた史跡草津宿本陣と草津宿街道交流館との両館入館者数32,700人(H29)のうち草津宿街道交流館入館者数をいう。</p>

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る			
目標	8	文化・芸術の振興	施策	40	市民が文化・芸術にふれる機会を推進します。
具体目標	ウ	文化・芸術の振興			
具体施策	(1)文化・芸術活動の育成支援と各種事業の充実を図ります。 (2)文化・芸術活動の担い手となる子どもの育成に努めます。 (3)多様な地域資源を活用した文化・芸術に触れる機会づくりに努めます。				

取組状況											
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	目標(上段)と実績(下段)					
						H27	H28	H29	H30	H31	
(1)	文化・芸術活動の育成支援と各種事業の充実	生涯学習課	「草津市美術展覧会」を開催し、市民に創作活動および鑑賞の機会を提供した。会期初日には、オープニングコンサートを実施し、観覧者数の増加に取り組んでいる。平成29年度については、選挙の期日前投票と期間が重なったこともあり、前年に比べて観覧者数が少し持ち直した。	市美術展覧会の観覧者数(人)	2,000人	目標	1,950	2,000	2,000	2,000	2,000
						実績	1,992	1,495	1,715		
						目標達成度	102.2%	74.8%	85.8%	0.0%	0.0%
(2)	文化・芸術活動の担い手となる子どもの育成	生涯学習課	文化・芸術活動の担い手となる子どもの育成を行うため、「アートフェスタくさつ(※1)」を、草津市21世紀文化芸術推進協議会に委託し、開催した。草津市青少年美術展覧会と同日開催にすることで、目標を上回る参加者があり、多くの方に、文化・芸術に親しむ機会を提供することができた。また、小学生を対象とした「キッズシネマ塾」を開催し、子ども達自らが草津の文化を見つめ直し、その魅力を発見し、作品を通して、広く市民に発信することができた。	アートフェスタにおけるワークショップの参加者数(人)	1,500人	目標	500	550	1,400	1,450	1,500
						実績	520	1,338	1,812		
						目標達成度	104.0%	243.3%	129.4%	0.0%	0.0%
(3)	地域資源を活用した文化・芸術に触れる機会づくり	生涯学習課	地域の文化・芸術振興の拠点となる草津アマカホール、草津クレアホールにおいて、「市民文化祭」「市民音楽祭」「青少年アンサンブルコンサート」など、草津市にゆかりのあるアーティストを活用した事業や、草津川跡地公園等をテーマにしたミュージカルを上演するなど、地域資源を活用した文化・芸術に触れる機会づくりにより、草津への愛着や市民文化の意識の高まりを醸成した。	文化ホールにおける地域資源を活用した事業数	30事業	目標	30	30	30	30	30
						実績	30	35	39		
						目標達成度	100.0%	116.7%	130.0%	0.0%	0.0%

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(1)	文化・芸術活動の育成支援と各種事業の充実	生涯学習課	市美展は質が高く充実している。多くの人に見てもらうため青少年美術展覧会との同時開催などの工夫、検討してほしい。	市美展については、出品委嘱の実施や無鑑査(特選5回以上)の方にも出品いただき、高い質が保てるよう事業を実施している。今後、多くの方に観覧していただくため、展覧会の初日には、草津市21世紀文化芸術推進協議会の協力のもと、オープニングコンサートを継続するとともに平成30年度からは「文化振興パンフレット」でも案内する予定。 青少年美術展覧会との同時開催は、会場規模の問題で合同開催は難しいものの、会期を続けて開催を行うほか、相乗効果が期待できる他行事についても、同日開催が可能か調整を図っていく。	市美展については、観覧者数の減少とともに、出品者も固定化および減少しており、対応を検討する必要があるため、文化振興審議会において対応策の検討を行う必要がある。 また、平成31年度に完成予定の(仮称)市民総合交流センターにおいて市美展を開催する改善案もあり、多くの人が観覧いただけるよう、多方面に渡る検討が必要である。	
(2)	文化・芸術活動の担い手となる子どもの育成	生涯学習課	文化的なサークルに対する支援の充実を検討してはどうか。	アートフェスタについては、ワークショップ中心の事業に移行することで、子どもが気軽に、文化・芸術に親しめる機会を提供している。また、草津市青少年美術展覧会と同日に開催することで、事業の相乗効果を図るとともに、来場者の増加につなげている。今後は、出店者・出演者に対して費用の補助を充実させ、参加を推進するとともに、参加者同士の交流を図る予定。また、キッズシネマ塾については、文化振興の側面を強く打ち出し、これからの文化の担い手を育成していく。	アートフェスタについては、さらに魅力のある事業とするため、ターゲットと目的を明確にするとともに、より質の高いワークショップを目指す。 また、県内の文化施設やまちづくり関連機関とも連携していく必要がある。	
(3)	地域資源を活用した文化・芸術に触れる機会づくり	生涯学習課	ホール事業の周知方法について、もう少し工夫が必要である。	定期的に、指定管理者と市の合同会議で協議を進めるとともに、指定管理者において、今後のホール事業を記載したパンフレットを作成し、配布している。また、南草津駅自由通路掲示板やラックの設置、デジタルサイネージを活用して周知を行う。	引き続き、2館一括管理による効果を、市民の文化・芸術活動の支援にどのように結び付けていくのかを推進体制を含め考える必要がある。	

注釈
 (※1)アートフェスタ:子どもから子育て世代をターゲットに、1日を通してアートに触れることができる参加型のイベントを、10月頃に市役所周辺を会場に開催する。

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る			
目標	9	地域協働合校の推進	施策	41	地域による学校支援を推進します。
具体目標	ア	地域が支援する学校づくり			
具体施策	(1)地域の人が学校や幼稚園の教育活動を支援し、子どもと関わる取組を拡充します。 (2)情報収集や人材のネットワークなど、学校と地域の連携を深められる体制づくりのための地域による学校支援の充実に努めます。				

取組状況											
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	目標(上段)と実績(下段)					
						H27	H28	H29	H30	H31	
(1) (2)	地域ボランティアによる学校支援の推進(地域協働合校推進事業) 【再掲(施策25)】	生涯学習課	事業数は、学校カリキュラムの中で精選・改善を行い、昨年度と同程度の実施回数となった。地域の伝統文化継承、地域の歴史や郷土料理を学ぶ等、自分の地域を誇ることにつながる事業を行ったり、自分が住む地域の自然での生き物観察、そろばんや書道等、専門的な学びも行った。地域コーディネーターを中心に、学校での支援ボランティアを登録制にしたり、活動内容を地域に広く案内したりすることで、子どもたちの活動に参加し、今まで培った経験や技能を発揮されたり、学習のサポートをされたりした。仲間を連れて何度も参加して下さるなど、少しずつではあるが増えてきている。	学校支援参加者平均延べ人数	1,400人/校	目標	1,200	1,250	1,300	1,350	1,400
						実績	1,257	634	699		
						目標達成度	104.8%	50.7%	53.8%		

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(1) (2)	地域ボランティアによる学校支援の推進(地域協働校推進事業) 【再掲(施策25)】	生涯学習課	地域コーディネーターの活躍によって地域との連携が充実したものになっている。今後もこの取組を継続することで、学校と地域がより密接した関わりを目指してほしい。	全小学校に地域コーディネーターを配置してから3年が経ち、学校では地域協働校の取組が形となってきた。地域コーディネーターを中心に、支援ボランティアを増やすために、取組の様子をチラシにして、回覧板に入れていただいたり、子どもたちや訪れた方に見ていただけるよう、校内の掲示板に活動の様子を掲示したりするなど、工夫を行った。また、支援ボランティアを登録制にして、同じボランティアが続けて参加することがないよう、均等に声掛けいただく仕組みを取り入れた。	小学校では外国語学習が入り、年間カリキュラムの精選が行われる中で、地域協働校事業についても精選が求められ、より授業に有効な活動へと改善していく必要がある。また、支援ボランティアの固定化や高齢化が課題であることから、昨年度から引き続き、子育てや日中勤務されている方でも、都合が合い、興味のある内容、得意分野の内容であれば、参加していただけるように声をかけていく必要がある。	

注釈

基本方向	3	地域に豊かな学びを創る			
目標	9	地域協働合校の推進	施策	42	子どもと大人が共に参加する地域活動を進めます。
具体目標	イ	地域で子どもが育つまちづくり			
具体施策	(1) 日常的な地域活動に子どもと大人が参加し、共に活動できるようにします。 (2) 学校教育と連携した地域活動を通して子どもの育成を目指します。				
(地域一括交付金による事業)					

取組状況											
施策番号	事業名	担当課	事業の主な取組内容と成果	評価項目	最終到達目標値	目標(上段)と実績(下段)					
						H27	H28	H29	H30	H31	
(1) (2)	子どもが参加する地域交流・体験活動機会の充実(地域協働合校事業) 【再掲(施策3)】	生涯学習課	平成28年度は、事業の見直しやインフルエンザ流行による事業中止があり減少していたが、平成29年度は大きな事業中止はなく実施することができた。子どもたちは、地域の歴史や伝統文化を学ぶ、郷土料理を調理する、ものづくりや防災体験といった活動に参加することで、地域への愛着心の醸成につながった。	地域で実施される地域協働合校事業に参加した小中学生の人数	8,000人	目標	7,500	7,650	7,800	7,900	8,000
						実績	7,326	6,496	6,821		
						目標達成度	97.7%	84.9%	87.4%		

課題						
施策番号	事業名	担当課	昨年度の外部評価委員等の意見	昨年度からの対応	今後の課題	外部評価委員の意見
(1) (2)	子どもが参加する地域交流・体験活動機会の充実 (地域協働合校事業) 【再掲(施策3)】	生涯学習課	他の地域の取組は非常に参考になるので、地域協働合校の理念の啓発と活動状況の情報発信と情報共有を継続してほしい。	地域での活動や、中学生が参加している好事例などを地域間で共有し生かせるよう、地域協働合校関係者の全体研修会において、様々な関係機関の意見交流を行えるグループワークを行った。また、地域協働合校情報紙「協働通心」を発行し、情報の共有化に努めている。	学区の特色を生かした活動の継続、充実した取組を図るため、研修会で得た情報を提供するなど、活動に取り組む上で必要に応じた支援を行う必要がある。	

注釈